

Excel で統計学①

I. Excel の基礎の基礎！

○Excel とは、パソコンなどで使える表計算ソフトのこと。Excel のアイコンはこれ →



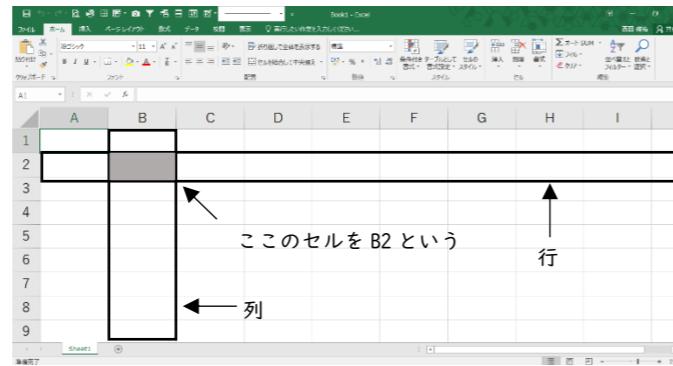
【やってみよう！】

①Excel のアイコンをダブルクリックし、「空白のブック」をクリックすると、下のような画面が出てきます。

②Excel ではこの 1 つ 1 つのマスのことを セル といいます。※英語で cell [細胞] のこと。

③この表の横 1 列を 行 といい、数字で表されます。一方縦 1 列を 列 といい、アルファベットで表されます。ただし、アルファベットは 26 文字しかないのです。27 列目以降は AA → AB → AC → … となります。

④これを使い、例えば B 列の 2 行目のセルのことを B2 のセル、などといいます。



2. 平均値や合計を求める & グラフを作る

(例 1) 6 月 25 日から 7 月 24 日まで 30 日間の古川の最高気温(°C), 最低気温(°C)の平均値、降水量の 1 ヶ月の合計(mm)を求め、それをグラフにしてみる。

【やってみよう！】

①フォルダから「Excel で統計学①」の Excel ファイルを開く。

②B33 のセルを選択し、数式バーの横にある「fx」と書かれたボタンをクリックする。

③関数名の欄に「AVERAGE」があればそれを選択し、OK をクリック。

※ない場合は、関数の検索で「平均」と入力し検索すれば出てくるはず。

④数値 1 欄をクリックし、B2 から B32 までの

セルをドラッグで選択し、OK をクリック

⇒B33 のセルに最高気温の平均値が出ます。

⑤同じようにして、C33 のセルに最低気温の、D33 のセルに降水量の平均値を出してみよう。

⑥今度は D34 のセルを選択し、「fx」をクリック→関数から「SUM」を選択→④と同じように操作する。

⇒D34 のセルに 30 日間の降水量の合計が出ます。

【今度はグラフを作ってみます】

⑦A2 から D32 までのセルをドラッグで選択し、上の項目から「挿入」タブ→「おすすめグラフ」を選択

⑧おすすめグラフの中から良いと思うものを選択する。今回は気温の変化を見るために（ ）を選択。

⇒気温と降水量のグラフが出ます。

【降水量を見るにはグラフを変更した方がいいので…】

⑨降水量のグラフをクリック→右クリック→「系統グラフの種類の変更」をクリック

⑩降水量のグラフを「()」に変更＆第 2 軸にチェックし、OK をクリック。

★Excel の関数を使うと統計に必要な指標がすぐに計算できます。代表的なものを挙げると、

- | | | | |
|------------------|-----------------|----------------------|--------------|
| ・ SUM … 合計値 | ・ AVERAGE … 平均値 | ・ MEDIAN … 中央値 | ・ MODE … 最頻値 |
| ・ STDEV.P … 標準偏差 | ・ VAR.P … 分散 | ※関数によって具体的な使い方は違います。 | |

3. アンケートの集計のしかたグラフの作り方 (ヒストグラムを作る)

(例 2) 40 人にアンケートで 1 ~ 6 までの選択肢がある質問をしたところ、次のような回答が得られた。

1, 3, 5, 3, 3, 1, 4, 2, 6, 2, 5, 4, 5, 6, 4, 6, 3, 2, 5, 2,
2, 5, 4, 4, 6, 3, 2, 6, 6, 5, 3, 3, 2, 2, 5, 4, 4, 4, 3, 4

この結果を集計し、グラフにしてみよう。

①B1 のセルに「回答」と入力し、B2～B41 のセルに上記結果を入力する。

②D1 のセルに「回答番号」と入力し、D2～D7 のセルに 1～6 の数字を入力する。

③E1 のセルに「人数」と入力し、E2 のセルを選択→「fx」をクリック→関数から「COUNTIF」を選択
※関数の検索で「個数」と入力し検索すれば出てくるはず。

④範囲は B2 から B41 のセルをドラッグで選択した後でキー
ボードの「F4」のボタンを押すと「\$B\$2:\$B\$41」となる。

⑤検索条件は D2 のセルを選択し、OK をクリック。

(④と⑤で右の画面になっていれば良い)

⇒E2 のセルに 1 と回答した人数が出ます。

⑥E2 のセルを右クリックし「コピー」をクリック
(または E2 のセルを選択しキーボードの「Ctrl」+「C」を同時に押す) →E2 のセルがギラギラ(?)する。

⑦E3～E7 のセルをドラッグで選択し→右クリックし「貼り付け」の一番左のボタンをクリック
(または E3～E7 のセルをドラッグで選択しキーボードの「Ctrl」+「V」を同時に押す)

⇒E3～E7 のセルにそれぞれの回答人数が出ます。

⑧D1 から E7 までのセルをドラッグで選択し、上の項目から「挿入」タブ→「おすすめグラフ」を選択

⑨おすすめグラフの中から良いと思うものを選択する。

人数の量が見たいなら (), 人数の割合をみたいなら () を選択

⇒回答の結果のグラフが出ます。

【練習1】

黎さんはあるレストランチェーンの3つの店舗A, B, Cについて、上半期の売上を調べたところ、下の表のようになりました。（単位は万円）

- (1) Excelの「練習1」のシートに右の表を入力しましょう。

※入力するセルの場所は特に指定しません。

- (2) それぞれのお店の月別平均売上と上半期の売上総額を、関数を使って求めてみよう。

- (3) 3店の月別売上額の推移をグラフにしてみよう。

	A店	B店	C店
4月	1,600	1,200	900
5月	2,000	1,500	1,100
6月	1,400	900	700
7月	1,700	1,100	1,100
8月	2,300	1,600	1,500
9月	1,800	1,300	1,000

【練習2】

明くんは、クラスメイト30人に4択の質問をしたところ、以下の回答が得られた。

4, 2, 3, 1, 1, 3, 1, 1, 4, 3, 2, 1, 1, 2, 1, 1, 3, 1, 3, 1, 4, 3, 2, 1, 3, 3, 2, 1, 2, 4

Excelの「練習2」のシートでCOUNTIF関数を使って結果を集計し、それをグラフにしてみよう。